

第3次行財政改革

3年目の成果をお知らせします

町では平成17年度から平成21年度までを計画期間とした「第3次白鷹町行財政改革大綱」を策定し、徹底した行財政改革に取り組んでいます。その取り組みの第3年目となる平成19年度の主な内容と成果についてお知らせします。

組織機構の見直し

- 総務課と政策改革課を統合して「総務政策課」にしました。また、重要施策を円滑に進めるため「まちづくり推進課」を設置しました。

職員の定員管理

- 平成17年度に策定した「定員適正化計画」に基づき、職員数の削減を行いました。
【職員数は平成16年度比28人減の227人】

職員の資質向上

- 職員研修を積極的に行いました。
【町独自研修5件、受講者数175人、派遣研修50人】

事務事業の見直し

- 平成18年度施政方針に係る事務事業63事業を評価し、結果を公表しました。
- 環境マネジメント(ISO14001)は、認証取得後3

年を経過したことによる更新審査と職員研修を実施しました。

民営化・民間委託の推進

- 平成21年度から、よつば保育園の指定管理者制度による民間委託を行うことを決定しました。また「白鷹町保育の将来ビジョン」の答申を受け、町内の保育園のあり方、さらに川西地区の統合について検討しました。

公共工事の見直し

- 協働のまちづくり事業により、9区で地域主体による事業を行いました。
- 入札予定価格130万円以上の事業について、入札予定を閲覧とホームページにより公表しました。
- 入札結果について、閲覧とホームページにより公表しました。

電子自治体の推進

- 県、各市町村連携による電子申請・届出システム（給与支払報告〈総括表〉、公的年金等支払報告〈総括表〉、戸籍の附票の写し交付申請、住民票の写し交付申請）を稼働しました。

財政及び公営企業の健全化

- 町税収入の確保
【口座振替加入促進制度により、口座振替件数が前年度対比687件増加】
- 遊休資産の処分
【柏原団地跡地、鮎貝赤土地内、法定外公共物の処分】
- 議員定数見直し
【18人→14人〈平成19年5月から実施〉】
- 人件費の抑制
【退職勧奨6人、職員給料削減の実施、町長20%、副町長12%、教育長6%給料削減】
- 物件費、旅費、補助金、負担金の縮減と新たな需要への対応
- 水道事業への繰出金の抑制

公営企業等の経営健全化

- 病院事業
→心エコー（超音波診断装置）・アルゴンプラズマ手術装置・人口呼吸器・血液ガスシステム導入による医療水準の維持向上、レセプト電算システム

などの整備による医療事務の効率化、給与・財務状況の公表、466千円の黒字となりました。

- 下水道事業
→水洗化率80.3%、使用料収納率 現年度98.9%、過年度47.1%、給与・財務状況の公表
- 水道事業
→収納率 現年度98.0%、過年度54.9%、給与・財務状況の公表
- 土地開発公社
→鮎貝工業用地を処分、給与・財務状況の公表
- 第三セクター
→給与・財務状況の公表

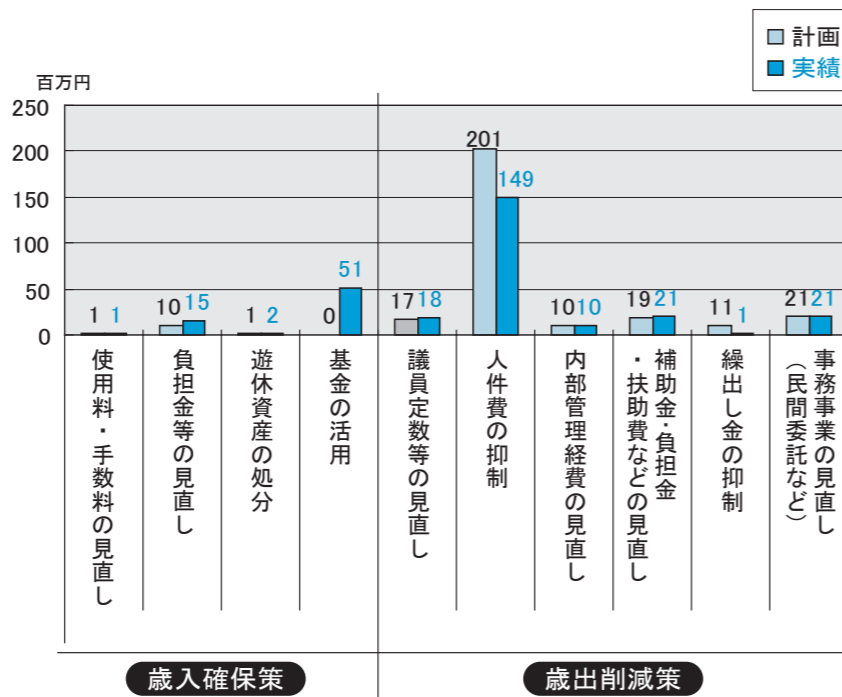
町民の参画機会の拡充

- 地区座談会の開催
【蚕桑・鮎貝・荒砥・十王・鷹山・東根で開催】
- パブリックコメントの実施
【町民プール整備計画、白鷹町保育の将来ビジョン、白鷹町安全安心まちづくり条例】
- 女性委員登用率の拡大【女性委員登用率29.8%】
- 協働のまちづくりモデル事業
【山口、中山地区に導入（山口地区は平成18年度より継続）】

◆経費節減等の財政効果（普通会計）

区分	歳入確保策	歳出削減策	合計
計画 (百万円)	12	279	291
実績 (百万円)	69	220	289
達成率	575.0%	78.9%	99.3%

◆各項目ごとの計画と実績額



以上の取り組みの結果、

平成19年度で

総額 **2億8,900万円**

の効果額となりました。

◆第3次行財政改革大綱の進捗度

取り組むべき重点課題49項目のうち

計画どおり実施	計画どおりでないが概ね達成	計画どおりに進んでいない	未実施
30	18	1	0
61.2%	36.7%	2.0%	0.0%

*第3次行革の成果は、白鷹町ホームページの「行財政改革」コーナーにも掲載していますのでご覧ください。

問い合わせ
総務政策課 総務係
☎85-6120